

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【公開番号】特開 2002-78058 (P2002-78058A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 15 日 (2002.3.15)
 【出願番号】特願 2000-263496 (P2000-263496)
 【国際特許分類】

H 0 4 R 1/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 1/10 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 頭部に装着されるヘッドバンド部と、

上記ヘッドバンド部の少なくとも一端側に取り付けられ、スピーカユニットが内蔵されたヘッドホン本体部と、

により構成されるヘッドホン装置において、

耳に掛けて装着時のずれを防止する耳掛け部を設けた

ことを特徴とするヘッドホン装置。

【請求項 2】 上記ヘッドバンド部は、ハンガーと、当該ハンガーの内側に設けた耳掛け部と、を有し

上記耳掛け部は耳介と頭部の接合部に掛るように上記ハンガーの上部から下方に向って延びたアームとよって成り、

装着時のずれを防止する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のヘッドホン装置。

【請求項 3】 上記耳掛け部は、上記ヘッドホン本体部のハウジングから延出するように設けた

ことを特徴とする請求項 1 に記載のヘッドホン装置。

【請求項 4】 上記耳掛け部は、上記ヘッドバンド部の内側にサスペンダーが設けられているヘッドホン装置であって、

上記サスペンダーから延長して耳掛け部を設けた

ことを特徴とする請求項 1 に記載のヘッドホン装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

以上の如く構成されるヘッドホン装置 1 1 は、図 3 に示す如くヘッドバンド部 1 2 を頭に載せ、ヘッドホン本体部 1 3 のイヤパッド 1 9 を耳 e の耳介に当てる状態で装着して使用するものであり、このとき図 3 及び図 4 に示すように、耳掛け部 2 1 を耳 e の耳介に掛けることによりヘッドホン装置 1 1 は耳 e に対しずれることなく確実に装着される状態となる。

そして、このヘッドホン装置 11 を装着した状態で動き回っても、ヘッドホン装置 11 は耳掛け部 21 の働きによってその装着状態で確実に保持されるので、頭部からずれ落ちることはなく、安定した装着性を得ることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

